

WHOIS登録情報正確性向上に 向けてのAPNICフォーラムでの議論

日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)
インターネット推進部・IP事業部
奥谷泉



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2016 Japan Network Information Center

グローバルな場でのWHOIS登録情報 正確性向上に関する議論

- 法執行機関によるドメイン名およびRIR WHOISデータベース正確性向上の要請
- Spam対応に留まらず、サイバー犯罪対応のために不可欠
- ICANNにおいてもgTLD WHOISのあり方を抜本的に見直す検討を開始
- ICANN57会議@ヘルシンキではRIRと法執行機関の関係者で情報交換

APNIC41での相談(APNIC事務局)

- APNICとして法執行機関、CERTへの要請に対応する必要性
- 年間1000件以上、APNIC WHOIS登録情報が不正確であるとの報告をAPNICは受けている
 - 多くはLIRを経由した顧客割り当て
 - 上流LIRにエスカレーションをしても解決しないケースが少なくない

APNIC WHOIS正確性向上 対応策の選択肢(APNIC41での議論)

- A) 不正確な登録情報にマークを付け、二回目以降不正確と判定された場合、サービスへのアクセスが拒否される(ARIN方式)
- B) 顧客割り当て、ルーティング情報等、APNICが管理していない登録情報を別データベースに分ける
- C) レストリが登録した情報をその他の情報を分けて識別できるようにする
- D) グローバルな問題として他のRIRコミュニティと一緒に検討する

APNICの登録情報に関する統計 (MLでの質問への回答)

- 過去12ヶ月でAPNICに寄せられた不正確なWHOIS登録情報報告：1,329件
- APNICへ申請資格を持つ申請者数：6401、うち5839がMyAPNICへのアクセスあり
- 申請資格者がIRT情報(Incidence Response用の連絡先)を登録している比率：96%
- APNICのBilling Contactへの連絡が不達となる件数：月100-110件

次回APNIC42

- APNIC事務局より法執行機関を招待して、彼らの現状の問題意識を共有する案が出ている
- APNIC WHOIS登録情報の正確性向上に向けての取り組みを継続議論
- 日本のコミュニティからAPNIC WHOIS登録情報の正確性向上について、現在出ている対策案へのコメント、またはその他対策として提示できる案はありますか

参考情報

- **議論の場**

- APNIC Policy SIG ML:
<https://mailman.apnic.net/mailman/listinfo/sig-policy>
- APNIC42 (予定)

- **APNIC41での議論**

- <https://2016.apricot.net/program#sessions/apnicpolicysig2-improvingapnicwhoisdataquality>
- <https://www.apnic.net/community/policy/policy-sig/whois-data-quality/apnic-41>